

2021年度 年間授業計画

都立南平高等学校

学年 必・選	2学年 必修選択	教科	理科	科目	化学	単位 数	3
教科書		化学 改定版 (啓林館)		使用教材	セミナー化学 (第一学習社) ニューステージ 新化学図表 (浜島書店)		
授業 担当者名							

		指導内容	指導目標	予定 時数
一 学 期	中 間 考 査	第1部 物質の状態 第1章 固体の構造 第2章 物質の状態変化 第3章 気体の性質 第4章 液体の性質	気体・液体・固体の性質を観察・実験などを通して探求し、物質の状態変化、状態間の平衡、溶解平衡および溶液の性質について理解させるとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。	19
	期 末 考 査	第2部 物質の変化と平衡 第1章 化学反応の熱・光エネルギー 第2章 化学反応と電気エネルギー 第3章 反応速度 第4章 化学平衡	化学反応に伴うエネルギーの出入り、反応速度および化学平衡を観察・実験などを通して探求し、化学反応に関する概念や法則を理解させるとともに、それらを日常生活や社会に関連付けて考察できるようにする。	20
二 学 期	中 間 考 査	第3部 無機物質 第1章 周期表と元素の分類 第2章 非金属元素 第3章 典型金属元素 ①アルカリ金属 ②2族元素 ③アルミニウム	人間生活に無機物質が深く関わっていることを知り、典型元素の製法、性質、反応性について学習させる。	22
	期 末 考 査	第3章 典型金属元素 ④亜鉛・水銀 ⑤スズ・鉛 第4章 遷移元素 第5章 生活と無機物質	各無機物質全般の性質について学習させる。特に、Fe, Cu, Agなどの代表的な遷移金属元素の製法、性質や反応性を学習させる。	21
三 学 期	学 年 末 考 査	第4部 有機化合物 第1章 有機化合物の特徴と構造 第2章 脂肪族炭化水素 第3章 酸素を含む脂肪族化合物 第4章 芳香族化合物 第5章 生活と有機化合物	有機化合物の性質や反応、芳香族炭化水素を始めとした芳香族化合物の構造や性質を観察・実験などを通して探求し、有機化合物の特徴を理解させるとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。	23
	計			105

評価の 観点・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的、基本的な授業内容を理解できているか。実験の基本操作やその意味が理解できているか。 ・年間5回の定期考査に加えて小テスト等での到達度や実験報告書等の提出状況および内容、そして授業に取り組む態度等を総合的に判断し、評価・評定を行う。
--------------	--